

課題名：極良食味水稲「きぬむすめ」のスマート農業による安定生産技術の確立
(令3～5)

内容：極良食味水稲品種の「きぬむすめ」は、本県の奨励品種に採用されて以来、作付を急速に伸ばしてきています。そこで、「きぬむすめ」において、品質、食味を低下させずに安定多収を得るため、ドローン空撮によるNDVI（正規化差植生指数）を指標とする高精度かつ超省力的な生育診断及び栽培管理技術を確立します。



ドローン撮影による画像データ取得

正規化差植生指数（NDVI）とは

- 人工衛星データを使って簡易な計算式で植生の分布状況や活性度を把握することを目的として考案された指標で、光合成に有効な光を植物が吸収する割合を表す。
Red:可視域赤の反射率
NIR:近赤外域の反射率

正規化差植生指数
$NDVI = \frac{(NIR - Red)}{(NIR + Red)}$

- 植生が多いほど、Redの値が小さくなり、逆にNIRの値が大きくなる。NDVIは-1～+1の値をとる。

[作物・経営研究室HPへ](#)
[農業研究所HPへ](#)